

巻頭言

2020年度の心理教育相談所における新型コロナウイルス感染症とのあゆみ

松崎 くみ子

2020年度は、新型コロナウイルスと共に歩む1年となった。現在、不完全ながらも相談活動が続けられておりますのも、皆様のお力添えの賜物と、心より感謝いたします。

心理教育相談所紀要の巻頭にあたり、この1年の歩みを整理しておきたい。

2020年1月16日、日本で初の新型コロナウイルス陽性感染者が報告された。感染者の増加に伴い、跡見学園女子大学においても、卒業式、修了式の中止が決定された。3月2日には全国の小中高校の臨時休校が要請された。続いて本学の2020年度の入学式の中止が決まり、授業の開始時期は5月11日まで延期された。

このような状況の中、心理教育相談所では、通常の相談業務を続けながら、緊急事態宣言に備えた準備を進めた。そして、4月7日には埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県の7都府県に対し5月6日までの緊急事態宣言が出され、4月16日には、全都道府県に対し緊急事態宣言が出された。

心理教育相談所における、対応の概要を以下に簡単に整理する。

【閉所前】2020年3月～2020年4月7日

- 1) 一定期間の閉所に向けて、利用者の方へ緊急事態宣言発出の場合は閉所になる旨のご連絡をとった
- 2) 閉所中も利用者の方と必要な場合に連絡できる連絡手段（予約管理用のメールアドレス作成、利用者の連絡先収集、情報管理）を確保した
- 3) 閉所の場合も利用可能な相談システムの構築（「遠隔カウンセリング（電話カウンセリング、ZOOMカウンセリング など）」の準備をすすめた

【閉所中】2020年4月8日～2020年6月30日

- 1) さくらルームから新座相談所に 電話転送できるようにした
- 2) HP 留守電による閉所についての周知を図った
- 3) 事務職 インターカーの遠隔作業を含めた勤務体制を整えた
- 4) 担当インターカーによる予約管理用のメールの定期的なチェックとスタッフ内での情報共有を行った
- 5) 「遠隔カウンセリング」実施にむけての学内調整（執行部会議、情報セキュリティ委員会）を行った
- 6) 「遠隔カウンセリング」を2020年5月22日に開始し、2021年2月末までに延べ236回実施した。

【開所に向けて】2020年6月以降

7月からの緊急事態宣言解除に伴う開所に向けて準備を進めた

- 1) 心理教育相談所内の感染予防対策<資料1>を作成した
- 2) 2020年7月1日～感染予防に配慮した、部分的な開所とした
- 3) 2020年9月11日～感染予防に配慮した知能検査の実施を再開した
- 4) 2020年10月23日～感染予防に配慮したプレイセラピーの実施を再開した

8月に第2波、11月に第3波を迎えたといわれているが、感染予防対策を取りながら段階的に活動を広げ、現状では、プレイルームを用いたプレイセラピー以外の相談活動をほぼ実施している。心理教育相談所は、公認心理師、臨床心理士の養成機関としての役割も担っているが、2020年度の大学院実習生の公認心理師になるための実習としての実習時間を10名全員満たすことができた。

現在2021年1月8日に首都圏で再度緊急事態宣言が発令され、新規陽性者数も減少してきたものの、1週間の1日あたりの平均が270人前後で横ばいの状態にある。また変異株による感染者数の増加もみられ、引きつづき、感染予防対策をしっかりと守りながらの相談所の活動が求められる。今後も、気を引き締めて、地域の皆さまへの貢献と、心理職養成という二つの役割を十分に果たせるようスタッフ一同力を合わせて努める所存です。引きつづき、どうぞよろしく願いいたします。